

東京都 土地改良 だより



vol.143



(町田市小山内裏公園「どんど焼き」2012年1月22日撮影)

CONTENTS

新年のご挨拶	1
3.11 東日本大震災復興支援 水土里の集い ~第34回全国土地改良大会 in みやぎ~	2
東日本大震災 災害派遣について	3
お知らせ ~第55回通常総会・理事会のご案内~	4

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
皆様には、平成24年の輝かしき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は本会の運営に特段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年3月に発生した東日本大震災により、被災地におきましては2万人にものぼる尊い人命が失われ、原発事故、港湾や工場、そして商店街など、生産・生活の基盤のすべてが崩壊しました。1日も早い復旧・復興が望まれるところであります。

また、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の動向などを見れば早晚、関税など国境措置の引き下げは避けられない方向にあるかと思われます。

このような状況を踏まえると、早期に貿易と農業の両立を実現できる戦略性のある農政を確立することが必然であります。

東京都土地改良事業団体連合会
会長職務代理 白井 孝

東京においては、都市に生活する人達から、今、農業・農地の持つ多様な機能、そして安全・安心な消費活動や環境の保全など、都市における快適な生活を確保する機能を維持して欲しいとの声が高まっております。

昨年10月農林水産省は都市農業の振興に関する施策の在り方について検討を行うため、関係者や有識者による「都市農業の振興に関する検討会」をスタートさせました。

都民、農業者の期待に応え、東京の農業が維持継続できる内容の検討結果を期待しております。

当連合会は微力ではございますが、会員の皆様からの負託に応えるとともに、東京の農地保全、農業振興に尽力し、このような都民の期待を実現する想いを強く抱いて、邁進していく所存でございますので、

ご支援とご協力を賜りますようにお願い申し上げます。

3.11 東日本大震災復興支援 水土里の集い

～第34回全国土地改良大会 in みやぎ～



大会会場の様子

第34回全国土地改良大会宮城大会は、平成二十三年十月二十日(木)「仙台国際センター大ホール」(仙台市青葉区)において、水土里ネットみやぎにより「復興へ土地改良の底力を! がんばろう東北・日本」をテーマに、全国から土地改良関係者約千五百名の参加のもと開催されました。(東京都土地改良事業団体連合会2名参加)

大会は、平成二十三年三月十一日の東日本大震災で被害を被った東北をはじめ、東日本地域並びに水土里ネット及び会員に対して全国の水土里ネット関係者が情報、意識を共有し、早期の復旧、復興に向けて一体となり取り組むとともに、防災対策を含む今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認する事目的に開催されました。

大会式典に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方への哀悼の意を表して黙祷が行われ、開催県である水土里ネットみやぎの伊藤会長が開会の挨拶をしました。

その後、主催者として全国水土里ネットの野中広務会長が「誰もが経験したことのない被害を被つた3.11 東日本大震災に対し、今こそ全国の水土里ネットの仲間が一体なり、壊滅的被害を受けた農地・土地改良施設の早期の復旧、復興に向けて、一致団結しなければならない」と挨拶されました。

また来賓として、岩本司 農林水産副大臣、村井嘉浩 宮城県知事、奥山恵美子 仙台市長をはじめ多くの方々が臨席されました。

大会宣言を水土里ネット名取の伊藤秀利さん、同じく小島ますみさんが宣言文を力強く読み上げられました。

最後に、千葉仁一 水土里ネットみやぎ副会長が閉会挨拶を行い、式典は盛会裡に終了しました。

続いて、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣賞六名、農林水産小農村振興局長賞十六名、全国土地改良事業団体連合会長表彰四十七名が表彰され、東京都土地改良事業団体連合会からは、全国土地改良事業団体連合会長表彰に日野用水土地改良区理事長の奥住武治氏が受賞されました。

東日本大震災 災害派遣について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）では、非常に広範囲な地域に甚大な被害を与えました。東京都には、被災県より農林水産省を通じて全国に災害派遣要請があり、東京都から昨年の9月1~30日の期間において、東京都 産業労働局 農林水産部 農業振興課の太田純治係長が被災地の農林災害復旧支援活動に携わりました。ここで現地の状況について太田係長に取材させていただきましたので、ご紹介致します。

1. 災害派遣先の状況

災害派遣先については、宮城県の仙台地方振興事務所農業農村整備部に配属されました。この事務所は宮城県庁から徒歩15分の場所にあり、市営地下鉄の「北四番丁駅」と「北仙台駅」の中間くらいに位置します。この事務所の管轄範囲は広く、黒川郡の大和町、富谷町、大郷町、大衡村、宮城郡の松島町、利府町、七ヶ浜町、塩竈市、多賀城市、仙台市、名取市、岩沼市、亘理郡の亘理町、山元町の計5市8町1村を管轄しています。

仙台市街では、地震の爪痕が多少残っていますが、街並みや生活はほぼ従前に戻っています。

被災現場では、ガレキの撤去が進んだこと、夏草が繁茂し視界を覆っていること等により、被災当時の凄惨な光景は薄れてきていますが、初めて現場に赴いた際は、同じ方向に傾いた電柱や基礎のみが残った宅地跡、供えられた花束等を目にして、何とも言えない気持になり慣れるまでに時間がかかったとのことです。

2. 現地での活動内容

現地に着いた太田係長は、亘理郡山元町の県営災害復旧事業を担当しました。事務所では、4名の県職員と派遣職員8名で構成される水利施設保全班の一員として農地及び農業用施設災害の査定に従事、県土連が作成した設計書をチェックする作業や査定申請を行いました。

また、査定後の実施設計書への組替えや発注（農地）ブロックの検討、現地作業では、被災農地の塩分濃度測定や台風（15号）通過後の湛水被害調査等、現場のニーズは多種多様だったようです。

今回の震災では被害規模が甚大かつ範囲も広範にわたるため、通常の査定設計書を作成していたのでは、期間も費用もかかり過ぎ人手も不足して対応できないことから、農地、農道、水路の復旧では簡素化のため「標準断面方式」による査定が実施されました。宮城県では水土里情報システムに全市町村が参加しており、有効な農地情報やGIS、航空写真等のデータベースが査定資料に有効活用されていました。

また、農林水産省のRIES A3（リーザスリー：農林水産省の積算システム）を使用できる環境でしたので、県土連の作成した査定設計書を実施設計書に組替えるのは、比較的容易だったようです。



【太田係長の感想】

今回宮城県に派遣され、活動することとなりましたが、緊張したのは最初の一週間程度で、比較的すぐに慣れることができました。また、ウィークデーの残業は結構ありましたが、土日祝日は基本的に休みで業務内容も過酷といえるようなものではありませんでした。派遣職員の中には災害担当の経験がない人もいましたが、やりながら覚えてもらうといった鷹揚な雰囲気もあり、派遣職員を受入れる体制といったものは良かったと感じています。



積算に使用したRIESA3は私自身使用したことはありませんし、他県職員にも扱った経験がない人も居ました。しかし、国土交通省版あるいは自治体版土木工事積算システムの使用経験があれば、システム構成自体には大差がなく、RIESA3も使っているうちに慣れたというのが実感です。不慣れな私がRIESA3を使用して、査定設計から実施設計に組み替えた農地復旧工事が、地元調整の結果そのまま発注されたことを後で聞き、感慨深いものがありました。

一ヶ月間という非常に短い期間の派遣で、どこまで力になれたか甚だ疑問ですが、自身の担当した地区が実りの秋を迎えた時に、金色の穂を実らせていることを切望します。また、この目で見たいとも思っており、被災地の早期復興を祈念しています。

お知らせ ~第55回東京都土地改良事業団体連合会 理事会・通常総会のご案内~

理事会・通常総会のご案内です。

◎理事会◎

日時平成24年2月16日 午前11時00分～
場所JA東京第1ビル 3階会議室

◎通常総会◎

日時平成24年2月16日 午後1時30分～
場所JA東京第1ビル 3階会議室





地域で守ろう豊かな自然

<http://www.midorinet-tokyo.or.jp>

農業農村整備事業の調査設計・実施設計業務、
災害復旧調査設計業務・換地業務委託、
その他各種土地改良事業のご相談は
経験豊かで信頼ある土地改良事業団体連合会へ

発行所

東京都土地改良事業団体連合会
東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL : 042-548-0371 FAX : 042-548-0375
URL : <http://www.midorinet-tokyo.or.jp>